

教科(科目)	保健体育 (保健)	単位数	1単位	学年(コース)	1学年
使用教科書	現代高等保健体育 (大修館)				
副教材等	現代高等保健体育ノート (大修館)				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	<p>○地域社会と積極的に交流することで、各自の興味・関心に基づく課題を見出し、学習活動で得た知識・技能をもとに、論理的に思考し主体的に解決策を見出す能力を育成する。</p> <p>○自分の主張を分かりやすく他者へ伝え、異なる主張に対しても、協調的に意見交換しながら合意形成を図ることができる能力を育成する。</p> <p>○正解のない問いや、困難な状況に際しても、他者と協力して、粘り強く挑戦し続ける態度を育成する。</p> <p>○自分のよさや強みを自覚し、うまくいかない状況に際しても、自己をうまく管理する柔軟な態度を育成する。</p>
カリキュラム・ポリシー	<p>○情報端末や、教育サービスを積極的に活用し、すべての生徒が主体的かつ意欲的に学ぶことができる教育活動を展開する。</p> <p>○個々の生徒の特性や理解の状況に応じた最適な学びを提供し、かつ生徒が互いに交流しながら協調的に学びあえる授業を行う。</p> <p>○地域社会と連携することで、豊かな体験活動の場を設けながら、教科とも連携した探究学習を行う。</p> <p>○生徒が自らの学びを振り返るとともに、教師が指導の改善を図ることができる学習評価を行いながら、常に教育活動の質の向上を図っていく。</p>

2 学習目標

<p>保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。</p> <p>(1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決にむけて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。</p> <p>(3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える健康づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>
--

3 指導の重点

<p>(1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。</p> <p>(3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めているとともに、技能を身に付けている。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。

5 評価方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
以上の観点を踏まえ、 ・ペーパーテストの分析 ・授業での発言 ・プリント等の取り組み などから評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・ペーパーテストの分析 ・グループワークでの活動の取り組み ・課題への取り組み などから評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・提出物の状況 ・授業の出席状況 ・授業準備や片付けなどの取り組み などから評価します。

6 学習計画

月	単元名	学習活動 (指導内容)	時間	評価方法
保健編 1単元 現代社会と健康				
4	健康の考え方と成り立ち	・さまざまな健康の考え方について例をあげて説明できる。 ・健康を成り立たせている要因について例をあげて説明できる。	1	・学習活動への取り組みの状況 ・単元テスト ・プリント、課題の内容・ノートの提出状況
	私たちの健康のすがた	・わが国の健康水準の変化とその背景について説明できる。 ・わが国の現在の健康問題について例をあげて説明できる。	1	
5	生活習慣病の予防と回復	・生活習慣病の種類と要因について説明できる。 ・生活習慣病の一次予防、二次予防について例をあげて説明できる。	2	

	がんの原因と予防	<ul style="list-style-type: none"> がんの種類や原因について説明できる。 がんの一次予防と二次予防について例をあげて説明できる。 	1	<ul style="list-style-type: none"> 学習活動への取り組みの状況 単元テスト プリント、課題の内容・ノートの提出状況
6	がんの治療と回復	<ul style="list-style-type: none"> がんのおもな治療法や緩和ケアについて説明できる。 がん検診の普及や情報サービスの整備などの社会的な対策について説明できる。 	1	
	運動と健康	<ul style="list-style-type: none"> 健康と運動の関係について説明できる。 目的に応じた健康的な運動のしかたについて例をあげて説明できる。 	1	
	食事と健康	<ul style="list-style-type: none"> 食事と健康の関係について説明できる。 健康的な食事のとり方について説明できる。 	1	
7	休養・睡眠と健康	<ul style="list-style-type: none"> 健康と休養の関係及び適切な休養のとり方について説明できる。 健康と睡眠の関係及び健康により睡眠のとり方について説明できる。 	1	
	喫煙と健康	<ul style="list-style-type: none"> 喫煙者やその周囲の人に起こる害について説明できる。 喫煙対策について、個人と社会に分けて例をあげて説明できる。 	2	
9	飲酒と健康	<ul style="list-style-type: none"> 飲酒による健康への短期的影響と長期的影響を説明できる。 飲酒による健康問題に対する個人や社会環境への対策について例をあげて説明できる。 	2	
9	薬物乱用と健康	<ul style="list-style-type: none"> 薬物乱用が心身の健康や社会に及ぼす影響について説明できる。 薬物乱用防止のための個人や社会環境への対策例をあげることができる。 	2	
10	精神疾患の特徴	<ul style="list-style-type: none"> 精神疾患の例をあげ、発病の要因とおもな症状について説明できる。 現代社会における精神保健の課題をあげることができる。 	2	
	精神疾患の予防	<ul style="list-style-type: none"> 精神疾患を予防する方法について説明できる。 精神疾患の早期発見のために必要なことについて説明できる。 	2	
	精神疾患からの回復	<ul style="list-style-type: none"> 精神疾患の治療について例をあげて説明できる。 精神疾患の適切な治療や回復のためには、どのような社会環境が必要か説明できる。 	2	
	現代の感染症	<ul style="list-style-type: none"> 感染症とは何かについて潜伏期間や感染力なども含めて説明できる。 新興感染症と再興感染症が流行する要因をそれぞれ説明できる。 	2	
11	感染症の予防	<ul style="list-style-type: none"> 感染症の予防対策について3原則から例をあげて説明できる。 感染症への個人と社会の対策について例をあげて説明できる。 	2	
	性感染症・エイズとその予防	<ul style="list-style-type: none"> 性感染症・エイズがほかの感染症と異なる点について説明できる。 性感染症・エイズの予防とその対策について個人と社会に分けて例をあげることができる。 	2	
12	健康に関する意思決定・行動選択	<ul style="list-style-type: none"> 意思決定・行動選択に影響を与える要因について説明できる。 健康に関する適切な意思決定・行動選択の際の工夫について例をあげて説明できる。 	1	
	健康に関する環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> 社会環境の健康への影響について例をあげて説明できる。 ヘルスプロモーションの考え方にもとづく環境づくりの特徴について説明できる。 	1	
保健編 2単元 安全な社会生活				
1	事故の現状と発生要因	<ul style="list-style-type: none"> 事故の実態と被害の実態について説明できる。 事故の発生には人的要因と環境要因が関連していることについて例をあげて説明できる。 	1	<ul style="list-style-type: none"> 学習活動への取り組みの状況 単元テスト プリント、課題の内容・ノートの提出状況
	安全な社会の形成	<ul style="list-style-type: none"> 安全のために必要な個人の行動について例をあげて説明できる。 すべての人たちの安全を確保するために必要な環境整備について例をあげて説明できる。 	1	
	交通における安全	<ul style="list-style-type: none"> 交通事故防止における個人の取り組みと交通環境の整備について例をあげて説明できる。 交通事故における責任を3つに分けて説明できる。 	1	
2	応急手当の意義とその基本	<ul style="list-style-type: none"> 応急手当の意義について説明できる。 傷病者を発見したときに、確認・観察するポイントをあげることができる。 	1	
	日常的な応急手当	<ul style="list-style-type: none"> 日常的なけがや熱中症の応急手当の手順や方法について説明できる。 実際に、日常的なけがや熱中症の応急手当ができる。 	1	
3	心肺蘇生法	<ul style="list-style-type: none"> 心肺蘇生法の方法と手順について説明できる。 実際に、心肺蘇生法をおこなうことができる。 	1	

計35時間 (50分授業)

7 課題・提出物等

- ・単元毎のプリント
- ・ノート提出等により評価

8 担当者からの一言

授業態度や単元毎のテスト、それとノートと提出等によって評価します。特に出欠席や態度は重要になりますので、毎時間かならず欠席せずに授業を受けること。

担当 体育科